



自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本本部で総合的学習（マイ・チャレンジ）の時間を支援 ～昨年総計246名を地本本部で実施！～



熱心に説明を行う田中2海曹



フレンドリーな話し方は学生達に親近感を持ってもらい和やかな雰囲気では体験は進む

自衛隊栃木地方協力本部長（加藤 浩 1陸佐）は、地本本部で本年度最初の総合的な学習の時間への協力（マイ・チャレンジ）を、5月22日（火）栃木県内の中学校4校（合同（栃木東、東陽、毛野、石橋中学校）合計17名で実施した。総合学習は2～4日間連続で行う学校が多く、近隣駐屯地で実施できない日は地本本部で受け持っている。昨年度、地本本部で実施した総合学習等は、中学校56回（226名）、高校7回（20名）計246名だった。

本部での総合学習では、陸・海・空の職種についての説明や海上自衛隊の手旗など行っており、実施を担当している田中2海曹が海上自衛隊の体験談や海外へ行った時の話などを楽しく説明すると、学生達からの質問が飛び交うなど、終始和やかな雰囲気で行われた。手旗体験では、説明・練習を行った後「3文字の手旗信号当てクイズ」を行い、それぞれの学生が試行錯誤しながら、楽しく手旗体験を行った。体験後、学生達からは「みんなの前で手旗をするのは恥ずかしかったけど、とても面白かったです」「暗号みたいで楽しかった！今度友達同士で秘密のサインみたいにやってみたいです！」と嬉しそうに話していた。また、担当した田中2海曹は「以前に体験学習で手旗を教えた学生たちが、広報展で声をかけてくれたり、試験を受けてくれたりしてくれるのでとてもやりがいを感じています。今年もたくさんのお学生達に自衛隊の魅力をアピールしていきます」と意気込みを語ってくれた。

栃木地本は、「今後も、職場体験学習支援を通じ、学校との連携及び信頼関係を強化していくとともに自衛隊をPRし広報活動を推進していく」としている。



手旗で「3文字当てクイズ」を行う学生



手旗の解説に挑む学生達